

# 収支予算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	22年度 予算額 A	21年度 予算額 B	差異 (A-B)	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
①会費等収入	247,240,000	260,800,000	△ 13,560,000	前期末会員数 694 社
入会金収入	2,500,000	2,500,000	0	入会見込 30 社
会費収入	244,740,000	258,300,000	△ 13,560,000	退会見込 100 社
②事業収入	59,890,000	73,290,000	△ 13,400,000	
セミナー・研修等収入	150,000	690,000	△ 540,000	セミナー受講料 30 名分
派遣元責任者講習収入	57,500,000	70,000,000	△ 12,500,000	受講料 6,900 名分
賀詞交歓会参加費収入	2,240,000	2,600,000	△ 360,000	参加会員 280 名分
③雑収入	2,500,000	2,220,000	280,000	
総会参加費収入	900,000	720,000	180,000	
雑収入	1,600,000	1,500,000	100,000	
事業活動収入計	309,630,000	336,310,000	△ 26,680,000	
2 事業活動支出				
①事業費支出	165,540,000	183,703,000	△ 18,163,000	
セミナー・研修等支出	9,498,000	8,552,000	946,000	各種セミナー等 12 回開催
派遣元責任者講習支出	57,466,000	67,694,000	△ 10,228,000	24 回開催、受講者数 6,900 名
相談支援支出	32,154,000	37,217,000	△ 5,063,000	東京・名古屋・大阪相談センター
地域協議会支出	9,575,000	7,835,000	1,740,000	助成金(上・下期)分、会長会議開催(2回)等
賀詞交歓会支出	3,660,000	4,450,000	△ 790,000	講演会、報道関係懇談会 1月18日開催予定(ホテルグランドパレス)
総務・事業委員会経費支出	50,000	50,000	0	人権啓発・倫理問題検討委員会
制度改定推進委員会経費支出	4,149,000	5,100,000	△ 951,000	派遣法改正への対応等
派遣事業運営支援委員会経費支出	35,338,000	34,145,000	1,193,000	haken <sup>+</sup> 、データブック2010、統計調査、広報等
派遣労働者支援委員会経費支出	2,100,000	2,200,000	△ 100,000	派遣スタッフWebアンケート調査等
CIETT経費支出	8,500,000	12,180,000	△ 3,680,000	会費、総会・理事会・アジア大会(韓国)出席等
委員会諸経費支出	3,050,000	4,280,000	△ 1,230,000	各委員会開催経費
②管理費支出	143,505,000	149,497,362	△ 5,992,362	
給与手当支出	82,548,000	86,657,000	△ 4,109,000	事務局職員給与
法定福利費支出	11,275,000	12,250,842	△ 975,842	同上法定福利費
福利厚生費支出	400,000	400,000	0	職員福利厚生費
退職金共済掛金支出	3,096,000	3,648,000	△ 552,000	中退共掛金
退職給付支出	3,917,000	0	3,917,000	
職員研修費支出	600,000	800,000	△ 200,000	職員部外研修費
総会費支出	6,475,000	7,734,000	△ 1,259,000	5月25日開催予定 (品川プリンスホテル)
理事会費支出	1,100,000	1,190,000	△ 90,000	年3回開催予定

科 目	22 年 度 予 算 額 A	21 年 度 予 算 額 B	差 異 (A-B)	備 考
事務所賃借料等支出	18,862,000	18,927,000	△ 65,000	事務所借料・電気料、倉庫保管料等           消費税等
什器・備品費支出	200,000	590,000	△ 390,000	
旅費・交通費支出	260,000	260,000	0	
通信費支出	2,055,000	2,200,000	△ 145,000	
広告宣伝費支出	170,000	179,000	△ 9,000	
折衝活動費支出	3,000,000	3,098,000	△ 98,000	
事務用消耗品費支出	1,800,000	1,801,440	△ 1,440	
事務機器リース料支出	2,400,000	2,400,000	0	
会員・会計システム経費支出	950,000	640,080	309,920	
図書費支出	300,000	300,000	0	
手数料支出	690,000	800,000	△ 110,000	
法曹関係費支出	1,302,000	1,302,000	0	
租税公課支出	1,505,000	3,720,000	△ 2,215,000	
雑支出	600,000	600,000	0	
事業活動支出計	309,045,000	333,200,362	△ 24,155,362	
事業活動収支差額	585,000	3,109,638	△ 2,524,638	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	3,917,000	2,500,000	1,417,000	
退職給付引当資産取崩収入	3,917,000	2,500,000	1,417,000	
投資活動収入計	3,917,000	2,500,000	1,417,000	
2 投資活動支出				
①特定資産取得支出	1,500,000	2,500,000	△ 1,000,000	
退職給付引当資産取得支出	1,500,000	2,500,000	△ 1,000,000	
投資活動支出計	1,500,000	2,500,000	△ 1,000,000	
投資活動収支差額	2,417,000	0	2,417,000	
Ⅲ 予備費支出				
予備費支出	2,000,000	2,000,000	0	
当期収支差額	1,002,000	1,109,638	△ 107,638	
前期繰越収支差額	78,435,653	136,966,628	△ 58,530,975	
次期繰越収支差額	79,437,653	138,076,266	△ 58,638,613	

委託費特別会計  
(平成22年度産業別高齢者雇用推進事業)

**収支予算書**

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	22 年 度 予 算 額 A	21 年 度 予 算 額 B	差 異 (A-B)	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 産業別高齢者雇用推進事業 交付金収入	9,993,000	9,599,000	394,000	
事業活動収入計	9,993,000	9,599,000	394,000	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	8,002,000	7,619,000	383,000	
調査事業の実施支出	0	4,641,520	△ 4,641,520	
ガイドラインの策定支出	169,000	0	169,000	
印刷製本費支出	1,374,000	2,005,500	△ 631,500	
啓発広報の実施支出	4,803,000	0	4,803,000	
労働者派遣事業 高齢者雇用推進委員会設置・運営費支出	1,656,000	971,980	684,020	
② 管理費支出	1,991,000	1,980,000	11,000	
人件費支出	1,896,200	1,885,800	10,400	
租税公課支出	94,800	94,200	600	
事業活動支出計	9,993,000	9,599,000	394,000	
事業活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

平成22年度「産業別高齢者雇用推進事業」の受託について

独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構から高齢者の雇用を一層効果的に促進するためとして、労働者派遣事業について昨年度「派遣業界でより高齢者が働きやすいよう環境を整備する」観点からの事業を受託しており、2年計画の2年目となる。

# 収支予算書 総括表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	委託費事業 特別会計	合計
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 会費等収入	( 247,240,000 )		( 247,240,000 )
入会金収入	2,500,000		2,500,000
会費収入	244,740,000		244,740,000
② 事業収入	( 59,890,000 )		( 59,890,000 )
セミナー・研修等収入	150,000		150,000
派遣元責任者講習収入	57,500,000		57,500,000
賀詞交歓会参加費収入	2,240,000		2,240,000
③ 雑収入	( 2,500,000 )		( 2,500,000 )
総会参加費収入	900,000		900,000
雑収入	1,600,000		1,600,000
④ 産業別高齢者雇用推進事業交付金収入		( 9,993,000 )	( 9,993,000 )
事業活動収入計	309,630,000	9,993,000	319,623,000
2 事業活動支出			
① 事業費支出	( 165,540,000 )	( 8,002,000 )	( 173,542,000 )
セミナー・研修等支出	9,498,000		9,498,000
派遣元責任者講習支出	57,466,000		57,466,000
相談支援支出	32,154,000		32,154,000
地域協議会支出	9,575,000		9,575,000
賀詞交歓会支出	3,660,000		3,660,000
総務・事業委員会経費支出	50,000		50,000
制度改定推進委員会経費支出	4,149,000		4,149,000
派遣事業運営支援委員会経費支出	35,338,000		35,338,000
派遣労働者支援委員会経費支出	2,100,000		2,100,000
CIETT経費支出	8,500,000		8,500,000
委員会諸経費支出	3,050,000		3,050,000
ガイドラインの策定支出		169,000	169,000
印刷製本費支出		1,374,000	1,374,000
啓発広報の実施支出		4,803,000	4,803,000
労働者派遣事業高齢者雇用推進委員会 設置・運営費支出		1,656,000	1,656,000
② 管理費支出	( 143,505,000 )	( 1,991,000 )	( 145,496,000 )
給与手当支出	82,548,000		82,548,000
法定福利費支出	11,275,000		11,275,000
福利厚生費支出	400,000		400,000
退職金共済掛金支出	3,096,000		3,096,000
退職給付支出	3,917,000		3,917,000
職員研修費支出	600,000		600,000
総会費支出	6,475,000		6,475,000
理事会費支出	1,100,000		1,100,000

科 目	一般会計	委託費事業 特別会計	合計
事務所賃借料等支出	18,862,000		18,862,000
什器・備品費支出	200,000		200,000
旅費・交通費支出	260,000		260,000
通信費支出	2,055,000		2,055,000
広告宣伝費支出	170,000		170,000
折衝活動費支出	3,000,000		3,000,000
事務用消耗品費支出	1,800,000		1,800,000
事務機器リース料支出	2,400,000		2,400,000
会員・会計システム経費支出	950,000		950,000
図書費支出	300,000		300,000
手数料支出	690,000		690,000
法曹関係費支出	1,302,000		1,302,000
租税公課支出	1,505,000	94,800	1,599,800
雑支出	600,000		600,000
人件費支出		1,896,200	1,896,200
事業活動支出計	309,045,000	9,993,000	319,038,000
事業活動収支差額	585,000	0	585,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入	( 3,917,000 )		( 3,917,000 )
退職給付引当資産取崩収入	3,917,000		3,917,000
投資活動収入計	3,917,000	0	3,917,000
2 投資活動支出			
① 特定資産取得支出	( 1,500,000 )		( 1,500,000 )
退職給付引当資産取得支出	1,500,000		1,500,000
投資活動支出計	1,500,000	0	1,500,000
投資活動収支差額	2,417,000	0	2,417,000
III 予備費支出			
予備費支出	2,000,000		2,000,000
当期収支差額	1,002,000	0	1,002,000
前期繰越収支差額	78,435,653	0	78,435,653
次期繰越収支差額	79,437,653	0	79,437,653

参考

21年度決算と22年度予算の対比表(抜粋)

(単位:円)

科 目	22年度 予算額 A	21年度 決算額 B	差 異 (A-B)	対比率 (A/B) %
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 会費等収入	247,240,000	192,417,500	54,822,500	128.5
② 事業収入	59,890,000	61,649,000	△ 1,759,000	97.1
派遣元責任者講習収入	57,500,000	59,381,000	△ 1,881,000	96.8
③ 雑収入	2,500,000	2,728,199	△ 228,199	91.6
事業活動収入計(①+②+③)	309,630,000	256,794,699	52,835,301	120.6
2 事業活動支出				
① 事業費支出	165,540,000	170,955,757	△ 5,415,757	96.8
派遣元責任者講習支出	57,466,000	63,670,220	△ 6,204,220	90.3
相談支援支出	32,154,000	37,176,440	△ 5,022,440	86.5
地域協議会支出	9,575,000	6,573,443	3,001,557	145.7
各種委員会経費支出	41,637,000	36,752,750	4,884,250	113.3
② 管理費支出	143,505,000	144,534,824	△ 1,029,824	99.3
事業活動支出計(①+②)	309,045,000	315,490,581	△ 6,445,581	98.0
事業活動収支差額(1-2)	585,000	△ 58,695,882		
投資活動収支差額	2,417,000	164,907		
予備費支出	2,000,000	0	2,000,000	
当期収支差額	1,002,000	△ 58,530,975		
前期繰越収支差額	78,435,653	136,966,628		
次期繰越収支差額	79,437,653	78,435,653		

(注)

1 事業活動収入

- ・ 会費については、22年度に限り前々年度(20年度)売上高に80%を乗じた額を基礎とした。
- ・ 派遣元責任者講習については、前年度の受講者数の減少、労働者派遣事業の売上高が減少していること等を踏まえ、開催地域及び定員数の見直しを行った。

2 事業活動支出

- ・ 事業活動支出については、前年度予算に比べ会費収入の減少が見込まれることから、全体として事業の見直し及び事業執行の効率化を進めることとした。
- ・ 派遣元責任者講習については、講師謝金・資料作成経費の見直し等実施経費の節減を図った。
- ・ 相談支援については、相談件数の減少及び電話による相談が大半であること等を踏まえ大阪・名古屋相談センターを9月末で廃止することとした。
- ・ 派遣のイメージアップ、社会的信頼性の向上活動に広がりを持たせるため、各地域協議会と協会との連携強化を図る。